

一 般 質 問 表

○宿 利 俊 行

1. 議会の一般質問に対し執行部が答弁したその後の処置について 45
 - (1) 平成15年6月議会 八幡地区の河川及び地下水の汚濁に伴う水質検査等。
 - (2) 平成15年12月議会 各地区に設置してあるグリーンポケットの件。
2. 自治館の利用の変更について 49
 - (1) 各地区自治館の新年度から土・日曜日・夜間(利用頻度大と考えられる)の開館は考えられないか。
3. 飲料水の確保について 50
 - (1) 八幡地区の飲料水確保の基礎調査の結果。
4. 町税やその他の収納をすべて自主納付にする考えはないか問う 51
 - (1) 納税組合納付の方式は個人情報保護法に抵触するおそれがある。
 - (2) 納税組合に出している納税奨励金は合法か。
 - (3) 平成17年度決算で国保税の不納付欠損額はどのような考えで行ったか。
※(欠損額 14,122,855 円)

○日 隈 久美男

1. 公用車の小型化について 55
 - (1) 通常の業務で使用する車で普通車と軽自動車の台数は。
 - (2) 使用走行時の定員に対し、何人乗っているかの実績を調査したことがあるか、あればその数字を聞く。
 - (3) 普通車と軽自動車の燃費の比較計算を示してほしい。
 - (4) 普通車から軽自動車の切り替えをと考えるが、どのようにお考えか。
 - (5) 又、玖珠町公用車取扱規定の9条の中で年間借上車の配車は延べ何台か。
2. 自治公民館の合併浄化槽の補助を 60
 - (1) 自治公民館の本町の数は。
 - (2) 合併浄化槽設置数は。
 - (3) 高齢化に伴う水洗をと、各地区からの問い合わせはあるか。
 - (4) 以前問い合わせをしたが自治公民館についての補助はないというが、これからもないのか。

○秦 時 雄

1. 塚脇小学校のオープンスペースについて

3. 学校施設の営繕工事及び修繕について 80

本町の学校施設は昭和43年頃から森中央小学校新築を最初に鉄筋コンクリートに改築されてきたところであるが、その後施設の

- (1) 屋根改修など大規模修繕の実績。
- (2) 町民体育館、八幡中学校体育館屋根の赤さび補修や八幡小学校講堂の雨漏り等現場からの修繕要望はないのか。又、修繕計画はないのか。今後、予想される大規模修繕事業を聞く。
- (3) 体育館の照明、電球の取替えはどのように対応しているか。

4. 八幡地区簡易水道設備建設にむけて 83

- (1) 飲料水現況調査結果について
- (2) 調査範囲について
坂登地区、元畑地区の調査は実施したのか。実施していなければ、今後の計画を聞く。

○繁 田 弘 司

1. この町の行方について

- 1) 議員生活20年を振り返って、この20年間で町はどう変わったか。これからの10年間で町はどう変わるのだろうか。今やらなければならないことは。今目指さなければならないことはなんだろうか。 86
- 2) 少子高齢化社会は進展する。10年後には団塊の世代が70歳を迎える本格的な高齢社会の中で税収の形はどう変わっていくか。国保、老人、介護保険はどうなってゆくのか。「備えあれば憂いなし」本格的な高齢者対策のため「クリーンランド跡地」を購入して、温泉を利用とした健康予防と健康作りは考えられないか。 89
- 3) 機関庫跡地の利用に対して町にプランはあるのか。機関庫整備計画の中に昭和町のリニューアルを組み入れて欲しい。 91
- 4) インター前の用地は購入したが、どのような利用計画があるのか。 92
- 5) 農協と商工会と行政がタイアップして町作りの話し合いを持つことが出来ないか。 92
- 6) 多くの町民が期待している工業団地、企業誘致は進展しているか。 93
- 7) 農業は残るが農家は減少している。大企業は生き残るが町の中小企業は大変厳しい状況下にある。町としてなんらかの支援対策は考えられないか。 94
- 8) いじめによる自殺、相次ぐ幼児虐待。私たちの町は大丈夫なのか。 95
- 9) 行財政改革は順調に進んでいるか。 96

○穴 井 丈 洋

町政は財源操作で、町の方向が決定されるなか、行政分野は三位一体化の新型交付税制等で揺れている。また、基幹産業農村・農業も、品目横断農政で、耕地確保はされたとしても農業農村集落

が潤う保障は見えない。そしてまた、医療・福祉年金・諸税等の負担増は高齢者には重く、若者には働く場がなく、少子・高齢・過疎化が進行している状況にある。

社会学者は集落戸数20戸減までは黄信号、10戸になれば赤信号と集落崩壊を示唆し、国土交通省は、これからまだ2,100集落が消滅すると試算している。このような状況下で、本町はどうなっていくのであろうか？このままの横滑りが続けば失速状況になるのではと思えてならない。既に施策した緊急4ヶ年計画の骨子「簡素・効率・協働・自立」を旨とし、内容の刻々検討や一層の強化推進等が必要であらう。

今回、教育委員会が提示推進している公立幼稚園再編問題から察する諸問題について質問する。

1) 財政再建緊急4ヶ年計画の遂行は大切だが、政府提示の新型交付税制や道州制問題などが次々と生じ、地方社会の転換は定まらない。本町としては、即時対応能力づくりが必要だろうし、沈滞気味な状況に「活力を鼓舞する指標的政策」が今必要になっているのではと思うが、町長はどう考えているのか、直面する構想を尋ねる。 99

2) 玖珠町第一の資源は286km²の大部分を占める山林・原野と田畑であらう。しかし、これまでの現状維持のままでは、とうてい飛躍はおぼつかない。資源の徹底活用、農業者・機関・団体・消費者総結集などを発想の転換で再構築していく、破格の取組みが必要になっているのではないだろうか。農林課のやる気と施策を尋ねる。 101

3) 世の中の中核的要素は当然ながら、「人材・育成・継承」である。したがって、あらゆる事業や、地域社会でも。この人材育成こそが課題であり、この組織や機関は第一の社会資本である。今回の通告的幼稚園再編問題は、町政渦中の課題となっているので、教育長に尋ねる。104

①幼稚園再編計画は、条件に適さない園は19年度から募集停止するというが、事務手続きとして、拙速・粗略すぎるのではと思わないか。

②幼稚園の小学校併設編入は考えないというが、その発想と思考は時代の潮流にそぐわないので、考え直すべきだと思うがどうか。

③二回の説明会からは、再編への科学的教育論拠なく、財政問題なのに数字的説明なく、コミュニティーと自立意欲を削いで、展望なきものにした。特に、適確で納得のいく応答は全くなく、『至上命題である』『この結論は変えない』と言い切るなどで、不満・不信が増幅する通告会と思えた。教育委員会は、このような状況のまま再編計画をするのであろうか、尋ねる。

○片山博雅

1. 高齢者、独居老人、寝たきりの人対策について 112

①寝たきりの人看護についての、看護手引きについて

②高齢者、独居老人等の緊急時における安心カード（仮称）について

③介護慰労手当の支給について

2. 町民皆水道について 116

①上水道第2次拡張工事が終結したが、給水区域外拡張が可能かどうか検討を進めているとの
答弁（17年3月議会）あり、その後の進捗状況について

②上水道給水区の拡張は上水道管理者としてできるのか、できないのか。

○江 藤 徳 美

“ 玖珠町の美しい自然環境を守るために ”

1. 農林業者の高齢化、兼業化等により、椎茸原木林、放牧地等の荒廃が進んでいる。健全な森林
の育成の為、里山林の整備など町の施策を伺う。 122

2. 豊富な湧水、清水の保全整備と活用方法について伺う。 125

イ) 保全状況、利用状況について

ロ) わき水めぐり、水の販売について

3. 国土調査の現状と計画について伺う。 127